

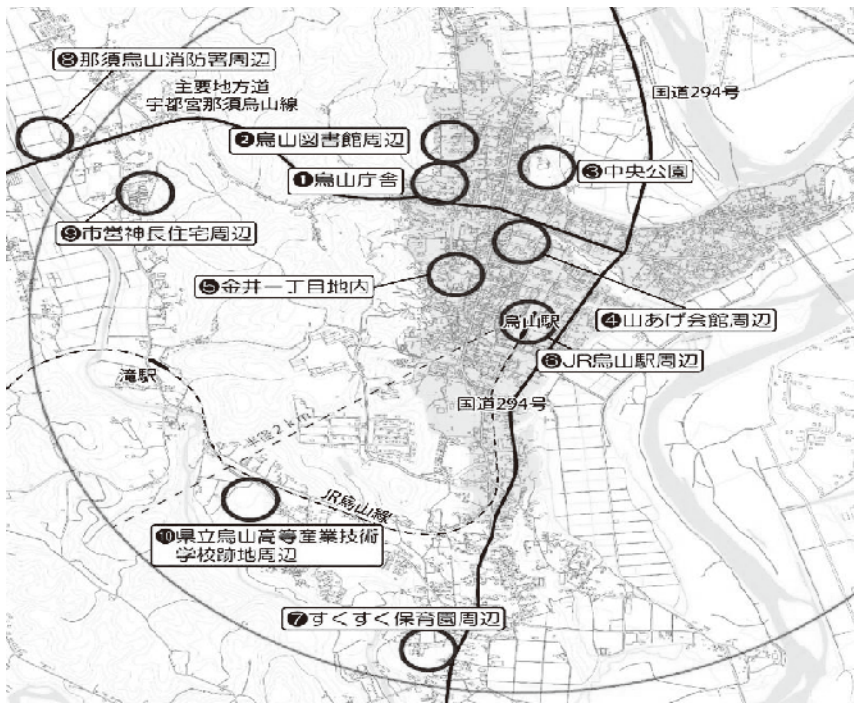
この街を想い…言わずにはいられない!

那須烏山市議会議員 **しぶい由放** 市政レポート

令和8年
4月18日
発行



新庁舎整備計画は再検討すべき!



当初の候補地(10か所)

このうち、当時40億円以上とされていた建設費については、「妥当な価格」とする方が35人に止まる一方で、「高い」とする方は147人に上っています。また建設時期については、「慎重に進める」という方が最多の161人に達しているほか、そもそも「建設すべきではない」という方も92人おられました。

建設場所についても、「現在の両庁舎を使用」が最多の92人、次いで「那須烏山消防署付近」が60人となっており、市が計画地としている「烏山駅周辺(民地買収)」という回答は、わずか28人となっています。

当初の候補地10か所には大金駅前などの南那須地区の場所が1か所もないことから、市内全域での検討も必要だったのではないのでしょうか。

このように、新庁舎整備計画は今、市民不在のまま進められようとしています。しぶい由放は、こうした現状を「言わずにはいられない!」のです。

那須烏山市は先月、那須烏山市庁舎整備基本計画を決定しました。烏山駅西側の土地16,400㎡に、3階建て延べ7,000㎡の新庁舎を整備する内容です。概算事業費は56億3,000万円から61億1,000万円と試算し、令和14(2032)年度のオープンを目指すとのことです。

しかし、超党派の市議会議員有志(しぶい、堀江清一議員、平塚英教議員)が自費で、令和6年7月～9月に市内2,004世帯を対象に実施した「新庁舎整備に関する市民意向調査」(回答数:401件)において、多くの市民の皆さんが、建設費、建設時期、そして建設場所について、様々な疑問を持っていることが分かっています。



私たちのアンケート結果はホームページに掲載しています。



しぶい由放の提言

新庁舎の市民アンケートを実施します!

那須烏山市では本年度、「第4次総合計画」を策定するために2,000人のアンケート調査を実施します。その調査に合わせて市は、「新庁舎整備の市民意向調査」も実施し、新庁舎整備についての市民の皆さんの幅広い意見を直接確認することを提案します。

新庁舎整備計画にあたっての 皆さんの疑問にお答えします!!

質問1 新庁舎の建設場所は、烏山駅前に決定してしまったのですか?



本年度予算で調査費が計上されていますが、決定したわけではありません。また庁舎の位置は条例で決められていますが、位置を変更する条例改正案も議会提出されていません。そこで建設場所を見直す余地はまだまだありますので、まずは市自らがアンケート調査を実施し、市民の皆さんの考えを直接、そしてしっかり把握することを提案しています。

質問2 なぜ、市は建設場所に烏山駅前を推しているのですか?



理由の一つに、市が烏山駅前に3,159㎡の土地を所有していることがあるかもしれません。この土地はかつて、観光案内所整備を目的に購入しましたが、建築基準法上の接道要件を満たしていないことで、現在まで建物を建設できません。そうした使えない土地を何とかしようというのであれば、まさに「本末転倒」です。



接道要件を満たしていない市有地

質問3 事業費は本当に56億円から61億円の範囲に収まるのですか?



近年の資材費や人件費の高騰で事業費が増大することは確実です。那須塩原市の新庁舎建設の入札では、当初の予定価格約123億円では不調となり、2回目の約145億円でも不調となっています。また市は、庁舎だけでなく多目的交流施設を合わせて整備する方針で、その場合の建設費は最低でも74億8,000万円に達するとのことです。

質問4 那須烏山市にとって、新庁舎の前にやるべきことがあるのでは?



その通りです! 本格的な少子高齢社会に突入した那須烏山市の課題は山積しています。なかでも老朽化が進む那須南病院の建替えには81億円から99億円必要とされており、限られた財源はそうした事業に活用すべきです。

老朽化により建替えが検討されている那須南病院



引き続き、皆様のご意見をしぶい由放にお寄せください!

ゆうほう
しぶい由放
後援会

しぶい由放公式サイト: <https://ufo-s.jp/>
TEL: 090-3111-7619
E-mail: shibui-ufo@docomo.ne.jp
〒321-0627 那須烏山市南1-1-122



討議資料